

小学生用（税と社会について考えてみよう！）

～Syllabus～

1. 授業の概要

税の意義を学習し、税の公平な負担についてディスカッション形式で考えさせることにより、税を通して社会に能動的に関わることを体験させる。

2. 到達目標

- 税金はどのような役割を果たしているのか理解させる。
- ディスカッションを通して、税の公平な負担について考察させる。
- 税の負担方法と税の用途はどのように決められるのかを理解させる。それらを決めることは、すなわちどのような社会にするのかを決めることであり、それを国民である自分自身が決めるということを理解させる。

3. 構 想

段 階	学習範囲	学習内容
導入	税金の種類 税の役割	・身近な消費税をはじめとして、多くの税金の種類があることを紹介する。 ・生徒がイメージしやすいよう、生徒の一日の流れの中で税金が使われている部分を紹介し、税金が私たちの安全・安心なくらしに、なくてはならないものであることを説明する。
展開	公平な負担	グループディスカッションにより公平に負担するということを体験、考察させる。
まとめ	国民としての自覚	・国民主権の意味を理解し、社会の一員として、税の公平な負担と税の用途について考えていかななくてはならないことを理解させる。

4. 展開（タイムスケジュール）

項目	内容	時間
<p><挨拶・自己紹介></p> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士の仕事 ・今日の学習内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、日ごろの仕事の内容を分かりやすい言葉で伝え、税理士に少しでも興味をもってもらうような税理士の職業紹介を行う。 ・これから行う授業の概要を説明する。 	5分
<p><税金ってなに？></p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金にはどんなものがあるの？ ・税金の種類 ・税金で作られているもの ・今の日本はどうなっているのかな？ ・「税金ってなに？」のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生にもなじみのある消費税をわかりやすく説明する。 ・税金の種類、所得課税、消費課税、資産課税の分類、直接税・間接税について簡単に説明する。 ・学生の一日の流れの中でも税金が使われており、安心して安全な暮らしには税金が不可欠であることを理解させる。 ・日本の現在の財政状況について簡単に説明する。 ・ここまでの授業内容を再確認する。 	10分
<p><税金を体験しよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・このクラスを国として考えてみよう ・図書館を建てよう！ ・50種類の税がある理由 ・「税金を体験しよう」まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の問題では平等を理解できればよいので時間をかけすぎないように注意する。レベルアップ問題に多く時間を割き、主体的・能動的なディスカッションにより公平について考えさせるように促す。レベルアップ問題は少し難易度が高いため必要に応じてヒントを出しながら進める。 ・各グループの話し合いの結果を書き出し、最終的にクラスの意見としてひとつにまとめる。 ・公平な社会を実現するために多くの種類の税金があることを理解させる。 ・税金を通じて、他人の立場を考慮すること（基本的人権の尊重）の大切さを伝える。 	20分
<p><税金についてもっと知ろう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金を決める仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民、国会、法律の関係を説明し、国民自身によって税金が決まる仕組みを説明し理解させる。講義内で行ったディスカッションと絡めて、日本 	4分

<p>・今日のまとめ</p>	<p>の税金のルールも、国民が（間接的に）決めていることを伝える。</p> <p>・税金について納税だけでなく、使い道にも関心を持ち有効に使うことの大切さを伝える。</p>	
<p><おわり></p>	<p>・ここまでの学習内容をまとめ、国民の一員として、一人一人が税金について関心を持ちながら、考えていくことの大切さを自分の言葉で伝える。</p>	<p>1 分</p>
<p><アンケート記入></p>		<p>5 分</p>